



# 大原中学校だより

【大原中学校の教育目標】  
「目的意識をもって自ら学び、心豊かに逞しく未来を拓く生徒の育成」

令和5年12月22日  
第31号  
校長 柴田美由紀



**2学期終了・・・謙虚な心で今学期を振り返り、新しい年への決意を固めよう！**

1年で最も長い2学期も今日で終わります。皆さん一人一人の2学期は、いかがだったでしょうか。まず、行事面です。2学期は2大行事がありました。体育大会は、短い練習時間でしたが、3年生の力強いリーダーシップのもと、一人一人が主役であることを自覚し、各ブロックとも団結を深めて燃えることができました。文化発表会も、各学級ともいろいろな課題を克服しながら、自分たちの合唱を創り上げることができ、聴く者に感動を与えることができました。

振り返れば、今みなさんは、これらの行事を通して、あるいは日々の学校生活の一つ一つの地道な取組によって、協力する喜びを味わえ、友達の新たなよさも発見できたと思います。まさに、今年のスローガン『協和』を体現してくれたように思いますし、人間的にも着実に成長してくれているとうれしく思います。

では、学習面では、設定した目標は達成できたか、計画は妥当であったか、改善策はうまくいったかを評価してみましょう。3年生は勝負の冬休みです。「成功とは成功するまでやりつづけること。失敗とは成功するまでにあきらめてしまうこと。」という格言があります。エジソンは電球を作り上げるまで、一万回失敗したそうですが、「私は実験において失敗など一度たりともしていない。これでは電球が光らないという発見を、今まで一万回しただけだ」と語ったそうです。諦めずに行動している限り、確実に力が作用し、何か変化して、結果学力が身に付いていくのです。がんばりましょう。

最後に生活面ですが、この2学期を振り返るとき、行事などでの皆さんのがんばり、団結力が発揮された一方で、心ない言葉や行動を友達に向けてしまう場面がいくつかあったように思います。このことだけは、2学期を振り返って、皆で真剣に反省しなければならぬことだと思います。

よりよい人間関係づくりの基本は、「相手の身に心を行き届け、言葉や行動を行き届かせる」ことに尽きると思います。「己の欲せざる所は人に施すこと勿れ」ということわざがあります。これは、「自分が人からしてほしいことは、人も同じように、いやだと思はずだから、そのようなことを人にしてはならない」という戒めを表しています。このことを、更に私なりに解釈・発展させてもらえば、「自分がしてほしいことを人にも行っていく。」「自分が言われてうれしい言葉を人にも掛けていく。」ということになりはしないかと思っています。大原中学校が目指してきた「学校における人権文化の確立」も、このような「相手の立場に自分を置き換えて考え、悩みや苦しみ、悲しみや願いを理解し、一歩でも相手に近づく」ための言葉や行動を大切にすることが土台であったはずで、「行く言葉や行為が美しければ、来る言葉や行為も美しい」のです。また、相手を笑顔にする心通わせるあいさつも大原中の伝統です。自分からしっかりとあいさつを行っている人も増えてきました。たくさんの元気を与えてきています。大切にしていきたいと思います。来たるべき新しい年は、この大原中が「相手を笑顔にさせる言葉かけやあいさつ、そして行動のできる人で、一杯になってくれることを期待します。

## 「誰かのためにできること」...「おごおりっ子からのメッセージ」



11月5日(日)に小郡市文化会館で「おごおりっ子からのメッセージ」が開催され、本校からは3年2組の さんが大原中学校の代表として、主張を行いました。「誰かのためにできること」と題して、自身のヘッドネーションの経験を通して実感した

誰かのために行動することの大切さについて、思いを語ってくれました。そのまっすぐな訴えは大きな共感を呼び、満場の拍手が送られました。

## 「リパティフェスタ」が開催されました



11月11日(土)に大原中校区「人権のまちづくり」主催によるリパティフェスタが開催され、本校も土曜授業として参加しました。体育館を使用し、従来通りに行うリパティフェスタは、4年ぶりとなりました。午前中がステージの部

で、午後が出店・展示・体験の部の2部構成で行われました。ステージの部では、大原中学校の吹奏楽部や合唱部、大原小学校3年生発表、東野小学校6年生発表、三井高校福祉教養コースのパフォーマンスが行われ、生徒のみなさんの聞く態度も実に見事でした。午後の出店・展示・体験の部も含め久々のリパティフェスタを、参加者の多くが楽しんである様子が見受けられました。一人一人がフェスタで受け取った思いや願いを自分自身にくぐらせ、平和の尊さや、自分そして他の人の人権を守る大切さについて学びを深めることができたように思います。また、多くの「つながり」が芽生えた有意義な時間であったと思います。

リパティフェスタを支えてくれた生徒実行委員、会場やテントの設営を手伝ってくれた部活動、音響を担当してくれた機械係、素晴らしいパフォーマンスを行ってくれた吹奏楽部や合唱部など、様々な人たちの協力のおかげで、充実した一日となりました。ありがとうございました。

## 数々の入選・入賞 おめでとう！

この2学期、様々な団体が募集した作文コンテストや詩、音楽創作コンクールなどでうれしい入選・入賞が相次ぎました。いずれも、作者の確かな主張や内容、感性が高く評価され受賞したものです。右にまとめて紹介します。よくがんばりました。おめでとう。



- 市郡音楽創作コンクール 入選： [redacted]  
佳作： [redacted]
- 歌についての作文 久雷米親善賞長賞： [redacted]  
小郡市長賞： [redacted]
- 小郡市社会を明るくする運動作文コンテスト  
優秀賞： [redacted]  
奨励賞： [redacted]
- 第42回全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会  
奨励賞： [redacted]
- 第34回野田宇太郎生誕祭献詩  
第三席： [redacted]  
佳作： [redacted]
- 小郡市人権週間講演会における人権作文の朗読： [redacted]